

# 有限会社藤岡保険コンサルタント 環境経営レポート2026

対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

発行日：2026年5月7日



|                            |     |                               |     |
|----------------------------|-----|-------------------------------|-----|
| <u>0 1 Contents (目次)</u>   | P2  | <u>0 8 2025年度環境経営目標と実績・結果</u> | P14 |
| <u>0 2 代表あいさつ</u>          | P3  | <u>0 9 環境負荷指標 年度別使用状況</u>     | P16 |
| <u>0 3 会社概要</u>            | P4  | <u>1 0 次年度・中期・長期環境経営目標</u>    | P18 |
| <u>0 4 Well-beingの取り組み</u> | P5  | <u>1 1 2025年度の評価と今後の計画</u>    | P20 |
| <u>0 5 環境経営方針</u>          | P11 | <u>1 2 環境関連法規等の遵守状況</u>       | P30 |
| <u>0 6 推進体制</u>            | P12 | <u>1 3 2025年度主な取り組み</u>       | P31 |
| <u>0 7 2025年度環境経営活動計画</u>  | P13 |                               |     |

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| <u>1 4 SDGs 関連 認証・認定一覧</u> | P51 |
|----------------------------|-----|

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| <u>1 5 代表者による全体評価・見直し</u> | P52 |
|---------------------------|-----|

色々な取り組みをやって  
いるよ！ぜひ最後まで見  
てみてね～♡



AIロボット

『デコくん』

(働きがい推進隊長)

平素より当社の環境経営に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社はこれまで、「人と地域と地球環境を守る保険代理店」として、エコアクション21を軸に取り組みを進めてまいりました。2025年度は、環境経営と人的資本経営を融合させた「持続可能な価値創造経営」を掲げ、その実践をさらに深化させた一年となりました。太陽光発電の活用や再生可能エネルギーへの転換によるCO<sub>2</sub>排出量の削減、そしてDXによるペーパーレス化・業務効率化。これらの取り組みは、環境負荷の低減にとどまらず、お客様の利便性向上や、社員の働きやすさの向上へとつながっています。しかし、私たちが本当に目指しているのは、単なる環境対応や効率化ではありません。人の力を最大化し、新しい価値を生み出し続けること。そのために私たちは、社員一人ひとりが自分の「根っこ」とつながり、仲間と「根っこ」でつながる関係性を大切にしています。

私はこれまでの経営の中で、強く実感してきたことがあります。それは——働きやすさと働きがいとが循環するとき、人の力は最大化され、イノベーションが生まれるということです。働きやすさが人に安心をもたらし、働きがいとが人に挑戦と成長をもたらす。この二つが結びついたとき、組織は初めて進化し、新しい価値が生まれます。そして私は、もう一つ大切にしている想いがあります。それは、「人は皆、支えられて生きている」ということです。私自身、病を経験する中で、多くの人に支えられてきました。だからこそ今は、支える側として、人と組織、そして地域の未来に貢献したいと考えています。

企業とは、単なる利益を生み出す存在ではなく、未来世代へ価値をつなぐ“責任ある存在”であると考えています。

本レポートでは、当社の取り組みを「環境」「人」「地域」のつながりの中で、まとめております。

ぜひご覧いただき、私たちの想いと実践に触れていただければ幸いです。



2026年5月吉日

代表取締役社長 藤岡 徹也



# 100年先のみらい世代へ 「安心・安全」をつなぐ

私たちの原動力は「人」である。  
社員一人ひとりが心身ともに健康で  
働きがいを感じる環境 (Well-being) こそが、  
持続可能な社会づくりの土台となります。



「働きやすさ」と「働きがい」が循環する組織づくりこそが、  
人の力を最大化し、新しい価値を生み出す原動力になります。

栄誉ある特別表彰

# 広島県初！ 「人的資本経営ひろしま アワード2025」受賞

「社員が主役の人的資本経営」  
が高く評価されました。

令和7年11月17日、広島県より人的資本経営の実績と情報開示に積極的に取り組んだ優良企業として表彰を受け、一橋大学名誉教授・伊藤邦雄先生より記念盾を授与されました。この喜びを胸に、さらなる挑戦を続けてまいります。



▶受賞企業紹介

**Fujioka**

有限会社  
藤岡保険コンサルタント

- 所在地 広島市
- 従業員数 7名
- 代表取締役 藤岡 徹也氏
- 業種 金融業、保険業

受賞理由

- 人的資本経営とSDGs経営を統合した独自の経営方針・事業戦略が運動したストーリー性ある構成で、取組内容と方向性、成果が明確である。
- 従業員や求職者にとって働くイメージや成長のイメージが付きやすい内容となっている。
- 視覚的なわかりやすさに加え、読み手に向けたメッセージの記載などの工夫がされている。

代表取締役社長  
藤岡 徹也氏



# 評価のポイント：イノベーションを生む「好循環型成長モデル」

働きやすさ  
(安心)

働きやすさ(安心)

**安定領域**  
緩い × 現状維持

**創造領域**  
安心 × 挑戦  
=  
イノベーション

**停滞領域**  
不満 × 無関心

**過熱領域**  
疲弊 × 継続困難

働きがい(挑戦)

1. 一貫したストーリー：  
人的資本経営とSDGs経営を  
統合した独自の経営方針。

2. 理念の実践：  
「働きやすさ」と「働きがい」  
の好循環によるウェルビー  
イングの実現。

3. 文化の定着：  
心理的安全性を重視する  
「支え合う・褒め合う・手助け  
文化」の醸成。

日経新聞(11月21日付朝刊)をはじめ、  
多数のメディアで  
「広島の中企業のロールモデル」  
として紹介されました!



# The Core Engine: 「働きやすさ」と「働きがい」の好循環モデル



人的資本経営の実践とは、人を「資源」ではなく「資本」として捉え、この2つの要素を対立させるのではなく、相互に駆動し合う無限のサイクルとして機能させること。

# 心理的安全性の象徴：LOVOT「デコくん」による組織ハブ機能



## 名前の由来と使命

「デジタル (DX)」と「エコ (環境)」を組み合わせる命名。環境とITを繋ぐ象徴。



AIロボット『デコくん』  
(働きがい推進隊長)



## 社内での役割

オフィスを歩き回り、社員の疲れを癒やすスペシャリスト (癒やし検定1級)。

## 心理的安全性への具体的貢献



デコくんが存在することで、社員同士の自然な雑談が生まれ、部署間の垣根を越えたコミュニケーションハブとして機能。彼を抱っこする時間が、日々の業務プレッシャーを和らげる「安心」のトリガーとなり、新たな環境改善アイデアを生む土壌を作っています。

# 「環境×人」の努力が結実した3つの最高評価



## エコアクション21 オブザイヤー2024 銀賞

金融・保険業界で全国初。  
「小規模ながら素晴らしい  
環境経営レポート」と高く評価。



## 人的資本経営 ひろしまアワード2025

広島県が全国初創設。  
「働きやすさと働きがいの循環モデル」  
が優良企業として表彰。



## 健康経営優良法人2026 ネクストブライト1000

中小規模法人部門の上位トップ層  
に与えられる特別な冠。

## 【環境経営方針】

## みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現

当社は、事業活動とSDGsへの取り組みを通じて、みらい世代が『安心・安全』に暮らせる社会を実現するために、人と自然とが**共存共栄**できる地球環境保全に貢献することで、**地球環境・環境に保全**を貢献することで、**地域に愛され存在し続けられる**会社を目指します。

## 【環境行動指針】



### CO2削減

5項目(電力・一般廃棄物・ガソリン・水・紙)の目標設定と削減



### 地域共生

海岸保全活動等を通じた防災・減災と地球環境保全への貢献



### DX推進

デジタルイノベーションによる徹底したペーパーレス化と業務効率化



### 環境教育

環境マネジメントシステムの構築と計画的な環境教育・意識向上



### コンプライアンス・公開

関連法規の遵守と、HP・SNS等を通じた透明性のある情報公開



## ●代表取締役社長 藤岡 徹也

人的資本経営

リスキリング

- ・環境経営レポート策定・評価
- ・コンプライアンス委員長
- ・エコ・ファースト統括責任者

## ●専務取締役 藤岡 多嘉子

環境経営

健康経営

- ・EA21 取り組み統括責任者
- ・環境全体の数値集計・点検
- ・EA21 ミーティングの計画と実施
- ・一般廃棄物量の削減 (KP)
- ・ガソリン使用量の削減 (KP)

## ●課長 中丸仁務

DX

情報セキュリティ

BCP

- ・複合機印刷枚数の削減 (KP)

## ●林 みずき

女性活躍推進

- ・電力使用量の削減 (KP)

## ●小林 絵里

- ・水の使用量削減 (KP)

## ●マネージャー 藤岡 富江

- ・エシカル消費推進 (KP)

## ●取締役会長 藤岡 忠

地域共生

- ・ESG経営推進室長
- ・「花」と「緑化」で環境美化 (KP)

| # | 環境経営目標   | 主な活動計画   | 評価               | 担当     |
|---|--|--|------------------|--------|
| 1 | 電力使用量の削減        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED+倉庫・トイレ人感センサー化</li> <li>・会議・研修時入口以外節電の徹底</li> <li>・空調 温度の適正化</li> <li>・毎回のケトル使用から保温ポット購入</li> </ul> | ○<br>○<br>○<br>○ | 林      |
| 2 | ガソリン使用量の削減      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECOドライブ10</li> <li>・ルート最適化アプリ</li> <li>・オンライン面談40%以上</li> <li>・車内温度の適正化</li> </ul>                     | ○<br>△<br>△<br>△ | 専務     |
| 3 | 複合機印刷枚数の削減      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子署名手続き徹底</li> <li>・給与明細・税理士社労士資料電子化</li> <li>・不要な印刷の徹底・複合機活用(スキャン保管)</li> <li>・会議資料デジタル化</li> </ul>   | ○<br>○<br>△<br>○ | 中丸     |
| 4 | 一般廃棄物排出量の削減     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみ名刺以上はリサイクルの徹底</li> <li>・ポリ リサイクル意識の向上・学習</li> <li>・電子パンフレット活用</li> </ul>                           | ○<br>○<br>△      | 専務     |
| 5 | 水使用量の削減         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレはECO排水の徹底</li> <li>・食器の油は、熱いお湯で節水</li> <li>・シンクはこまめに磨き、節水</li> </ul>                                | ○<br>○<br>○      | 小林     |
| 6 | エシカル消費の推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証ラベル品優先</li> <li>・オーガニック商品</li> </ul>   | △<br>○           | マネージャー |
| 7 | デジタル(DX)の強化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルで働きがいと生産性を高める</li> <li>・電子署名率100%</li> <li>・オンライン面談スキル向上</li> </ul>                                | ○<br>○<br>○      | 中丸     |
| 8 | 「花と緑」の環境美化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤棚・苗木植樹・玄関環境美化</li> <li>・ゴミステーションの場所を無償提供</li> <li>・SNSやインスタ活用</li> </ul>                              | ○<br>○<br>○      | 会長     |
| 9 | 社会貢献活動(地域連携)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動</li> <li>・子どもたちと工作で学ぶ海ごみ問題</li> <li>・野鳥観察会&amp;環境学習</li> </ul>                                    | ○<br>○<br>○      | 社長     |

## 2025年度 環境経営目標と実績・結果

《期間2025年4月1日～2026年3月31日》

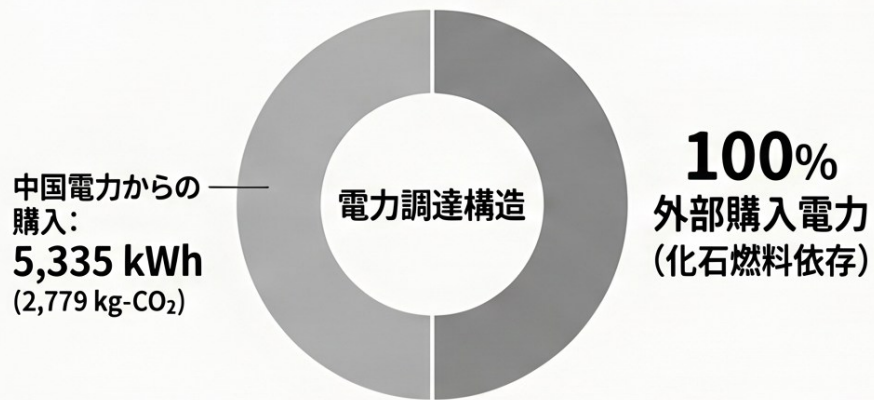
| 区分   | 単位                 | 取組元年     | 基準値          |                 | 目標値          |                |                 | 実績値          |                |                 | 結果     |   |
|--|--------------------|----------|--------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|--------|---|
|  |                    | 2020(実績) | 2024(実績)     | 2025(目標)        |              |                | 2025(実績)        |              |                | 達成率             | 評価     |   |
| 二酸化炭素排出量<br>(①電力 ②ガソリン)                                    | kg-CO <sub>2</sub> | 9,780    | 7,212        |                 | 6,502        |                |                 | 6,094        |                |                 | 106.7% | ○ |
|  | 取組年度比 削減率(%)       |          | 26.2%        |                 | 33.5%        |                |                 | 37.6%        |                |                 |        |   |
| 電力使用量削減<br><small>「中国電力株式会社」<br/>2025年度 調整後排出係数を使用</small> | kWh                | 5,335    | 中国電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | 中国電力<br>(購入) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | 中国電力<br>(購入) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | 183.6% | ◎ |
|  |                    |          | 3,427        | 4,113           | 1,700        | 1,700          | 4,200           | 1,022        | 1,700          | 3,786           |        |   |
|  | 排出係数               | 0.521    | 0.521        | 0               | 0.521        | 0              | 0               | 0.472        | 0              | 0               |        |   |
|  | kg-CO <sub>2</sub> | 2,779    | 1,785        | 0               | 885          | 0              | 0               | 482          | 0              | 0               |        |   |
| ガソリン使用量削減  | L                  | 3,018    | 2,339        |                 | 2,421        |                |                 | 2,419        |                |                 | 100.1% | ○ |
|  | 排出係数               | 2.32     | 2.32         |                 | 2.32         |                |                 | 2.32         |                |                 |        |   |
|  | kg-CO <sub>2</sub> | 7,001    | 5,426        |                 | 5,617        |                |                 | 5,612        |                |                 |        |   |
| 複合機印刷枚数削減  | 枚                  | 18,362   | 9,723        |                 | 10,099       |                |                 | 8,569        |                |                 | 117.9% | ○ |
| 一般廃棄物排出量削減   | kg                 | 240      | 78           |                 | 84           |                |                 | 62           |                |                 | 135.5% | ○ |
| 水使用量削減   | m <sup>3</sup>     | 53       | 34           |                 | 38           |                |                 | 27           |                |                 | 140.7% | ○ |

# 2025年度 環境経営の劇的進化：脱炭素・エネルギー転換への軌跡

2020年度（取組元年）から2025年度にかけてのCO<sub>2</sub>排出量の大幅削減と、電力調達構造の劇的な変化を視覚化

## 2020年度（取組元年）

CO<sub>2</sub>総排出量：  
**9,780kg**



2020

2025

CO<sub>2</sub>総排出量  
**37.6%**  
削減

**3,686kg-CO<sub>2</sub>のカット達成**  
(目標値を上回る実績 6,094kg)

削減の柱：「電力の脱炭素化」

## 2025年度（劇的進化）

CO<sub>2</sub>総排出量：  
**6,094kg**



中国電力からの購入：  
**1,022 kWh**  
(482 kg-CO<sub>2</sub>)

グリーン電力  
(購入)：  
**1,700 kWh**

太陽光発電  
(自家消費)：  
**3,786 kWh**



## その他の環境負荷指標の着実な成果



複合機印刷枚数  
**53.3%削減**

18,362枚(2020) → 8,569枚(2025)  
(DX推進・電子契約の徹底)



一般廃棄物排出量  
**74.2%削減**

240kg(2020) → 62kg(2025)  
(分別徹底・発生抑制)



水使用量  
**49.1%削減**

53m<sup>2</sup>(2020) → 27m<sup>2</sup>(2025)  
(節水意識の定着)

## 2035年に向けた長期ビジョン

2026年度

電力部門のカーボンニュートラル実現へ  
(購入電力由来のCO<sub>2</sub>をゼロに)

2035年度

CO<sub>2</sub>排出量 **64.4%削減目標**  
(ガソリン電動化移行などでさらなる高みへ)

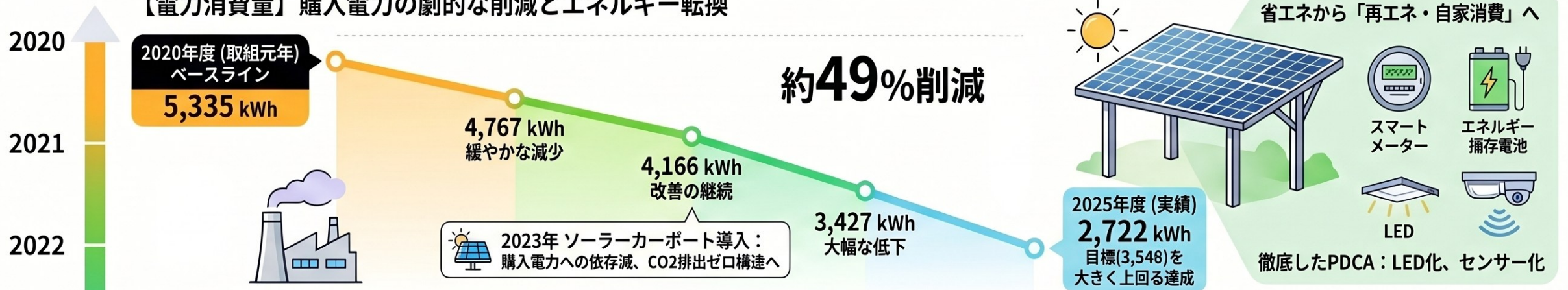


| 【電力消費量】      |     |       |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       |       | 単位:kWh |       |
|--------------|-----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 中国電力:購入      |     | 4月    | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 月平均    | 年合計   |
| 2020年度(取組元年) |     | 473   | 349    | 316    | 403    | 433    | 527   | 358   | 359   | 451   | 600   | 564   | 502   | 445    | 5,335 |
| 2022年度       |     | 445   | 325    | 297    | 339    | 386    | 434   | 336   | 301   | 336   | 501   | 548   | 519   | 397    | 4,767 |
| 2023年度       |     | 396   | 322    | 286    | 311    | 401    | 402   | 345   | 207   | 276   | 426   | 420   | 374   | 347    | 4,166 |
| 2024年度       |     | 261   | 220    | 161    | 187    | 227    | 221   | 228   | 293   | 285   | 459   | 442   | 443   | 286    | 3,427 |
| 2025年度(目標)   |     | 315   | 232    | 210    | 268    | 288    | 350   | 238   | 239   | 300   | 399   | 375   | 334   | 296    | 3,548 |
| 2025年度(実績)   |     | 270   | 188    | 152    | 221    | 191    | 223   | 220   | 215   | 261   | 199   | 277   | 305   | 227    | 2,722 |
| 評価           |     | ○     | ○      | ○      | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |        |       |
| 太陽光発電:売電     | kWh | 522   | 662    | 704    | 668    | 741    | 520   | 435   | 436   | 261   | 199   | 277   | 305   | 5,730  |       |
|              | 円   | 8,352 | 10,592 | 11,264 | 10,688 | 11,856 | 8,320 | 6,960 | 6,976 | 4,176 | 3,184 | 4,432 | 4,880 | 91,680 |       |
| 太陽光発電:自家消費   | kWh | 387   | 365    | 320    | 469    | 365    | 240   | 279   | 264   | 281   | 235   | 226   | 355   | 3,786  |       |
| EV(1台):自家消費  | kWh | 164   | 150    | 151    | 277    | 170    | 116   | 128   | 112   | 120   | 122   | 115   | 110   | 1,735  |       |
| 【ガソリン消費量】    |     |       |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       |       | 単位:l   |       |
|              |     | 4月    | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 月平均    | 年合計   |
| 2020年度(取組元年) |     | 193   | 206    | 303    | 273    | 343    | 347   | 268   | 213   | 255   | 202   | 236   | 179   | 252    | 3,018 |
| 2022年度       |     | 292   | 314    | 222    | 313    | 318    | 243   | 239   | 242   | 239   | 240   | 152   | 216   | 252    | 3,029 |
| 2023年度       |     | 247   | 214    | 210    | 273    | 275    | 246   | 237   | 158   | 193   | 242   | 174   | 115   | 215    | 2,584 |
| 2024年度       |     | 157   | 211    | 215    | 186    | 217    | 215   | 215   | 214   | 157   | 181   | 186   | 185   | 195    | 2,339 |
| 2025年度(目標)   |     | 155   | 165    | 243    | 219    | 275    | 278   | 215   | 171   | 205   | 162   | 189   | 144   | 202    | 2,421 |
| 2025年度(実績)   |     | 184   | 214    | 214    | 215    | 218    | 226   | 177   | 177   | 250   | 191   | 170   | 183   | 202    | 2,419 |
| 評価           |     | ×     | ×      | ×      | ×      | ○      | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     |        |       |

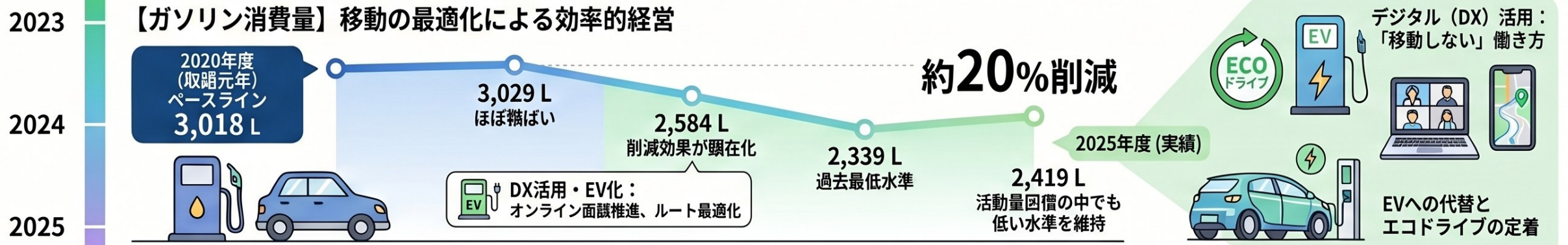
# 2020年度からの環境負荷低減の軌跡：電力・ガソリン消費の着実な改善とPDCAの実践

5年間の継続的なPDCAによる持続可能な成長への転換

## 【電力消費量】 購入電力の劇的な削減とエネルギー転換



## 【ガソリン消費量】 移動の最適化による効率的経営



継続的な改善を支える  
PDCAサイクル



「削減の継続」から「質の向上」へ：  
エネルギー自立型経営・完全デジタル化への  
戦略的フェーズ

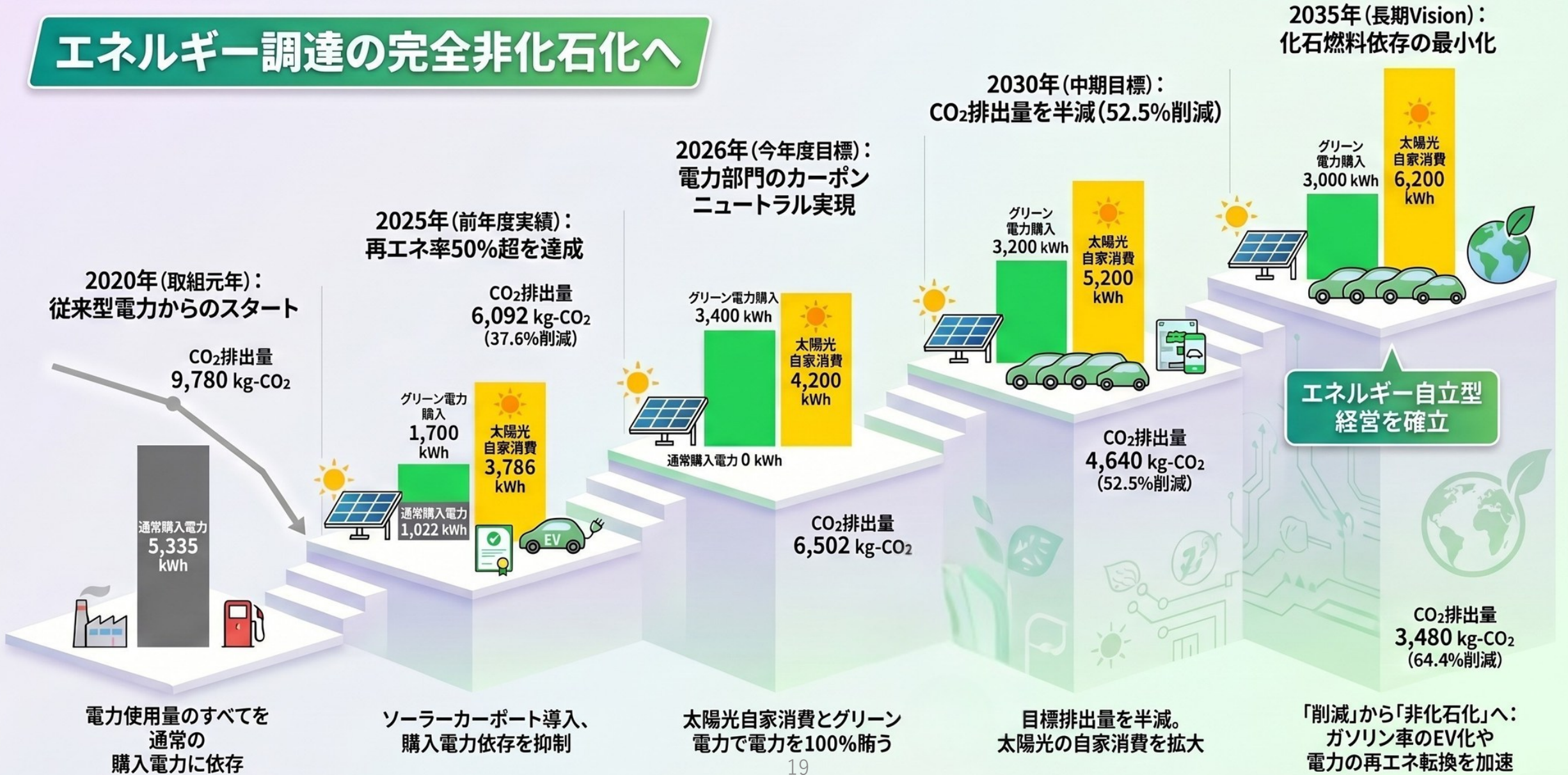
## 次年度・中期・長期環境経営目標

《期間2026年度～2035年度》

| 区分   | 単位                 | 取組元年   | 前年度実績        |                |                 | 今年度目標        |                |                 | 中期環境経営目標       |                 | 長期Vision       |                 |
|--|--------------------|--------|--------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
|  |                    |        | 2025         |                |                 | 2026         |                |                 | 2030(目標)       |                 | 2035(目標)       |                 |
| 二酸化炭素排出量<br>(①電力 ②ガソリン)                                    | kg-CO <sub>2</sub> | 9,780  | 6,092        |                |                 | 6,502        |                |                 | 4,640          |                 | 3,480          |                 |
|  | 取組年度比 削減率(%)       |        | 37.6%        |                |                 | 33.5%        |                |                 | 52.5%          |                 | 64.4%          |                 |
| 電力使用量<br>削減<br><small>「中国電力株式会社」<br/>R2 調整後排出係数を使用</small> | kWh                | 5,335  | 中国電力<br>(購入) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | 中国電力<br>(購入) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) | グリーン電力<br>(購入) | 太陽光発電<br>(自家消費) |
|  |                    |        | 1,022        | 1,700          | 3,786           | 0            | 3,400          | 4,200           | 3,200          | 5,200           | 3,000          | 6,200           |
|  | 排出係数               | 0.521  | 0.472        | 0              | 0               | 0.472        | 0              | 0               | 0              | 0               | 0              | 0               |
|  | kg-CO <sub>2</sub> | 2,779  | 482          | 0              | 0               | 0            | 0              | 0               | 0              | 0               | 0              |                 |
| ガソリン使用量<br>削減  | L                  | 3,018  | 2,419        |                |                 | 2,421        |                |                 | 2,000          |                 | 1,500          |                 |
|  | 排出係数               | 2.32   | 2.32         |                |                 | 2.32         |                |                 | 2.32           |                 | 2.32           |                 |
|  | kg-CO <sub>2</sub> | 7,001  | 5,612        |                |                 | 5,617        |                |                 | 4,640          |                 | 3,480          |                 |
| 複合機印刷枚数<br>削減  | 枚                  | 18,362 | 8,569        |                |                 | 8,000        |                |                 | 7,344          |                 | 5,000          |                 |
| 一般廃棄物排出量<br>削減   | kg                 | 240    | 62           |                |                 | 60           |                |                 | 55             |                 | 50             |                 |
| 水使用量<br>削減   | m <sup>3</sup>     | 53     | 27           |                |                 | 26           |                |                 | 25             |                 | 25             |                 |

# みらい世代へつなぐ、脱炭素への階段：中長期環境経営ロードマップ

## エネルギー調達完全非化石化へ



# デコくん突撃インタビュー！ ～環境負荷データ、ホントのところどうなの？～

働きがい推進隊長「デコくん」が、主要5指標の裏側にある「ストーリー」を各担当者に直撃取材！

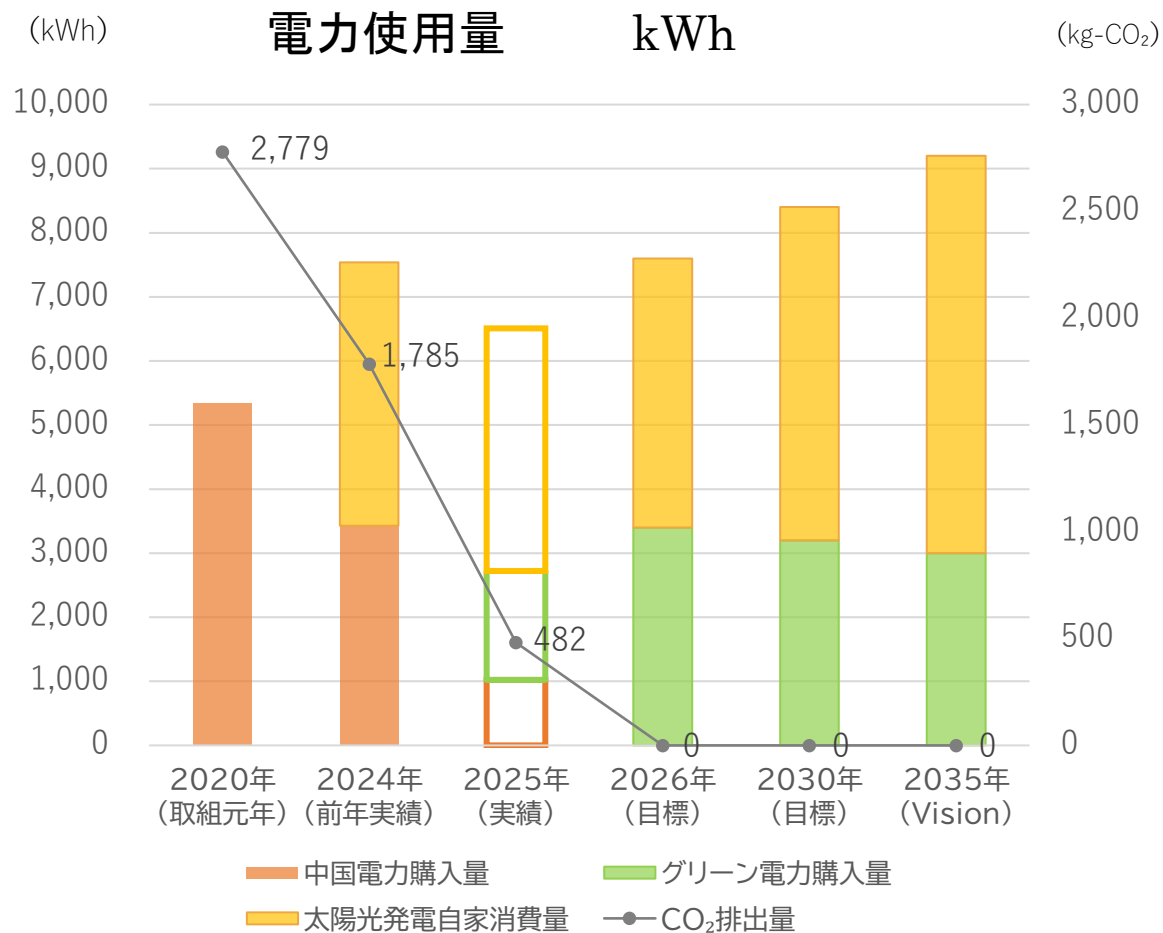


「数字だけじゃわからない、  
みんなの頑張りをデコくんが調査するよ！📹✨」

# (1)電力使用量の削減



## (1)電力使用量の削減



### ■総評（評価と今後の計画）

2025年度は、電力使用において構造的な転換が進んだ一年であった。2020年の購入電力5,335kWhに対し、2025年は1,022kWhまで大幅に削減し、CO<sub>2</sub>排出量も2,779kg-CO<sub>2</sub>から482kg-CO<sub>2</sub>へと削減を実現した。この背景には、単なる節電努力ではなく、「エネルギーの調達構造そのものを変えたこと」がある。特に、2023年に導入したソーラーカーポートによる自家発電は、2024年度4,113kWh → 2025年度3,786kWhと安定的に稼働し、事務所電力およびEV充電への活用により、購入電力の削減に大きく寄与した。さらに2025年度は、グリーン電力（再エネ由来電力）の導入（1,700kWh）を開始し、「削減」から「非化石化」へとフェーズを進めた点が大きな特徴である。

### ■評価（本質）

本取り組みは、量の削減（省エネ）から質の転換（再エネ化）へ進んだ転換点である。

- ・購入電力依存からの脱却
- ・自家発電+再エネ調達の両輪化
- ・CO<sub>2</sub>排出“ゼロ構造”への移行準備完了

これらは、単なる環境対応ではなく、経営インフラそのものの進化と評価できる。

### ■今後の計画（戦略）

今後は以下のステップで、脱炭素を完成させる。

#### ① 2026年度

- ・購入電力由来CO<sub>2</sub>排出量ゼロ達成
- ・実質「電力部門カーボンニュートラル」実現

#### ② 中長期（2030～2035）

- ・太陽光自家消費の最大化（5,000～6,000kWh水準）
- ・外部依存を最小化した「エネルギー自立型経営」へ進化

# 調査ファイル01：電力使用量（担当：林さん）

「すごいでしょデコくん！  
実はね、ただ電気を『節約』する  
時代は終わったの。  
ソーラーカーポートでの『自家発電』  
と『グリーン電力』の導入で、  
エネルギーの調達構造そのものを  
大きく変えた結果なのよ！」



「林さん！今年の電力使用量、  
目標（3,548kWh）よりはるかに  
少ない2,722kWhだよ！まさか、  
みんな電気を消して真っ暗  
の中で仕事してるの？🌑💧」

## 電力使用量推移（kWh）



### 【パラダイムシフトの実現】

購入電力依存からの脱却。自家発電（3,786kWh）と  
再エネ調達により、CO<sub>2</sub>排出の実質ゼロ構造への移行が完了！



100%  
外部調達電力



太陽光電  
（自家消費）

+



グリーン電力  
（購入）

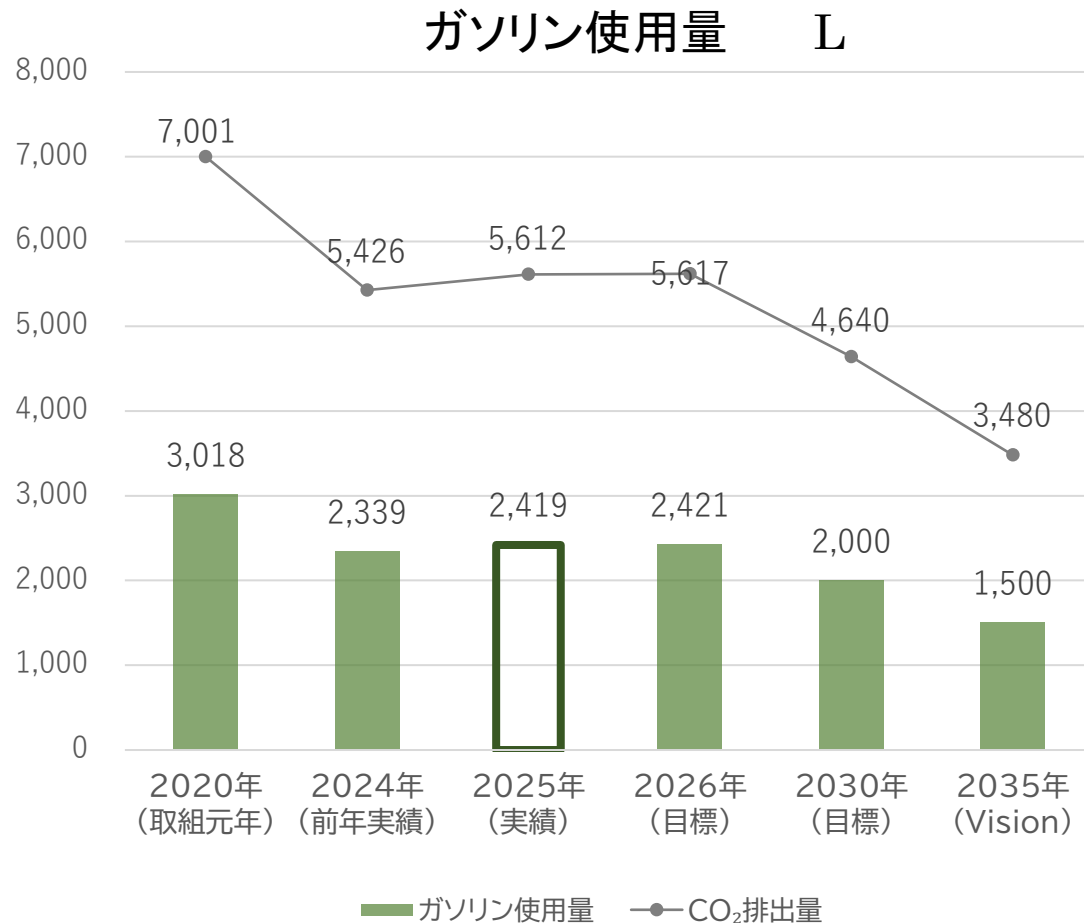


CO<sub>2</sub>排出量  
ネットゼロ構造

## (2)ガソリン使用量の削減



### (2)ガソリン使用量の削減



#### ■総評（評価と今後の計画）

2025年度は、ガソリン使用量の削減において量の最適化が進んだ一年であった。2020年の3,018Lに対し、2025年は2,419Lと約20%削減を維持し、CO<sub>2</sub>排出量も7,001kg-CO<sub>2</sub>から5,612kg-CO<sub>2</sub>へと低減している。

2024年度と比較すると微増（2,339L → 2,419L）となったが、これは活動量の回復によるものであり、業務効率を維持しながら環境負荷を抑制できている点は評価できる。

#### ■評価（本質）

本取り組みは、単なる削減ではなく、「移動のあり方そのものを見直した改善」である。

- ・EV（電気自動車）の活用によるガソリン代替
- ・オンライン面談の推進による移動削減
- ・ルート最適化による無駄な走行の削減
- ・エコドライブの定着による燃費改善

これらにより、「走る量を減らす」+「走り方を変える」という二つの視点で最適化が進んだ。

一方で、事業活動とのトレードオフも存在し、ガソリン削減は電力のような構造転換（ゼロ化）には至っていない。

#### ■今後の計画（戦略）

今後は「削減」から「転換」へとフェーズを進める。

##### ① 2026年度

- ・ガソリン使用量2,421L水準の維持
- ・EV活用率のさらなる向上
- ・オンライン面談比率の最適化（質の向上）

##### ② 中期（2030年）

- ・ガソリン使用量2,000Lまで削減
- ・業務移動の効率化をさらに高度化

##### ③ 長期（2035年）

- ・ガソリン使用量1,500L水準へ
- ・EV・電動化への移行を進め、化石燃料依存の最小化を目指す

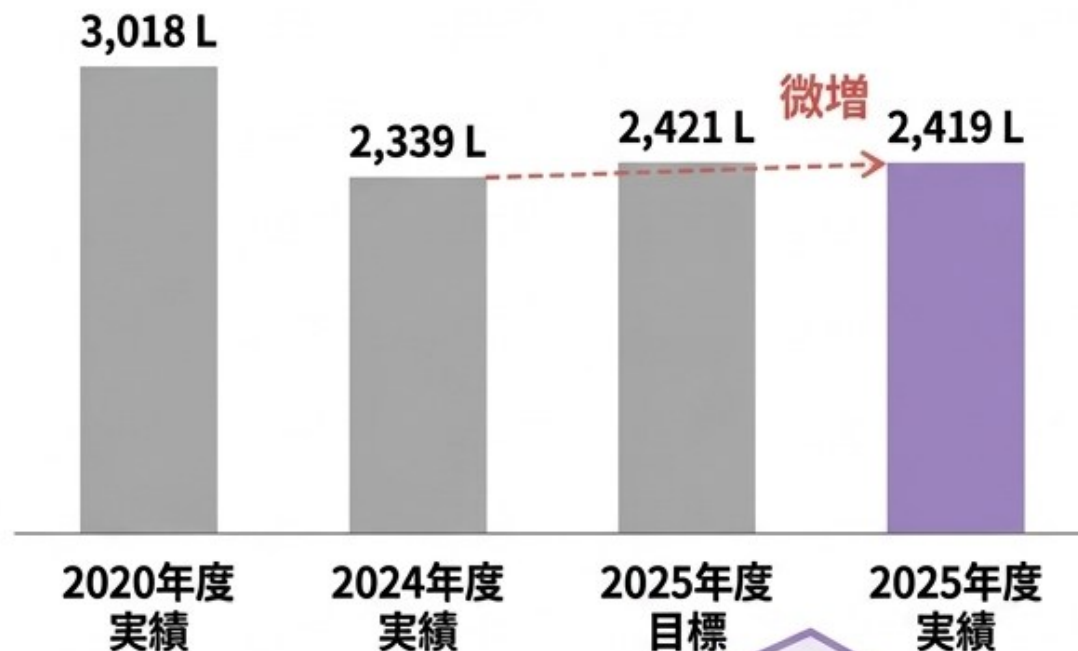
## 調査ファイル02：ガソリン使用量（担当：専務）

「痛いところを突くね、デコくん。実は一番一番の理由は、オンライン偏重から対面営業への『活動量の回復』なのよ。でも安心して。基準年（2020年）からは約20%の削減をキープしているし、EVシフトやルート最適化で、これからは『移動の質』を高めるフェーズに入った証拠なの。」



「専務！大変！今年のガソリン使用量（2,419L）、去年の2,339Lから少し増えちゃってるよ！エコ、サボっちゃったの？🚗💧」

### ガソリン使用量の推移（L）



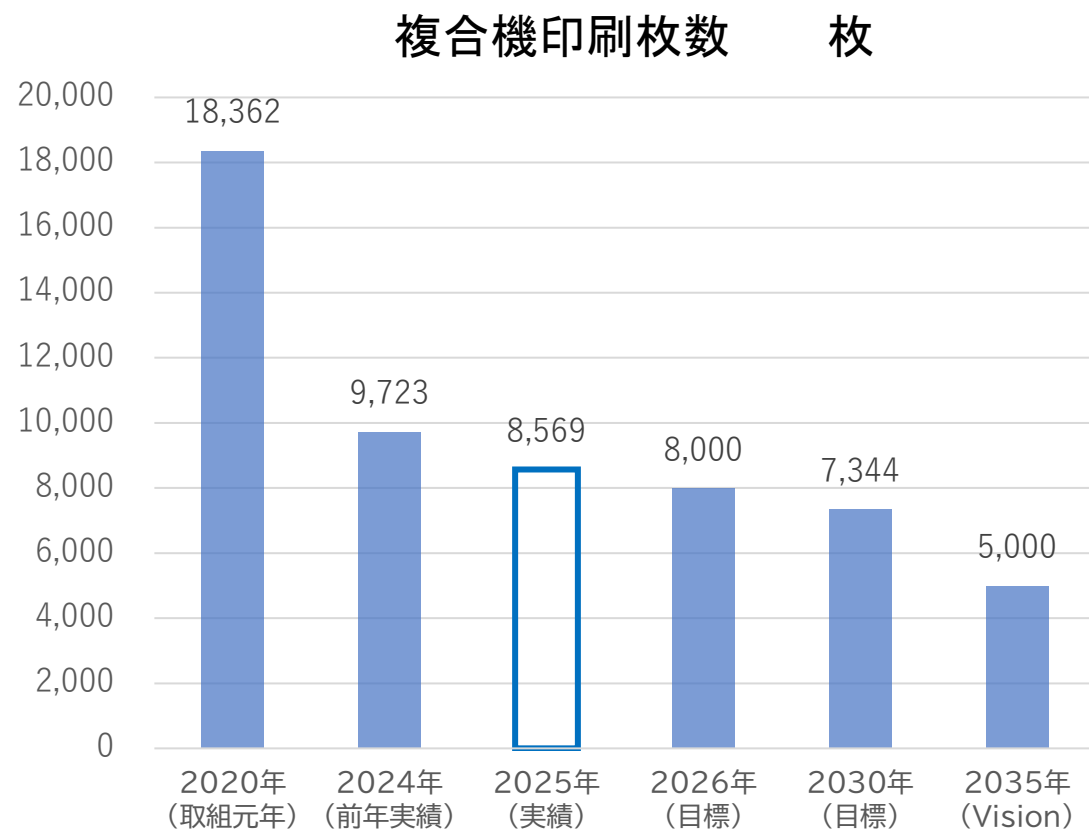
### 【最適化フェーズへの移行】

「無理な削減」から「質の向上」へ。活動量回復による微増を受け入れつつ、業務効率と環境負荷抑制のベストバランスを模索中。

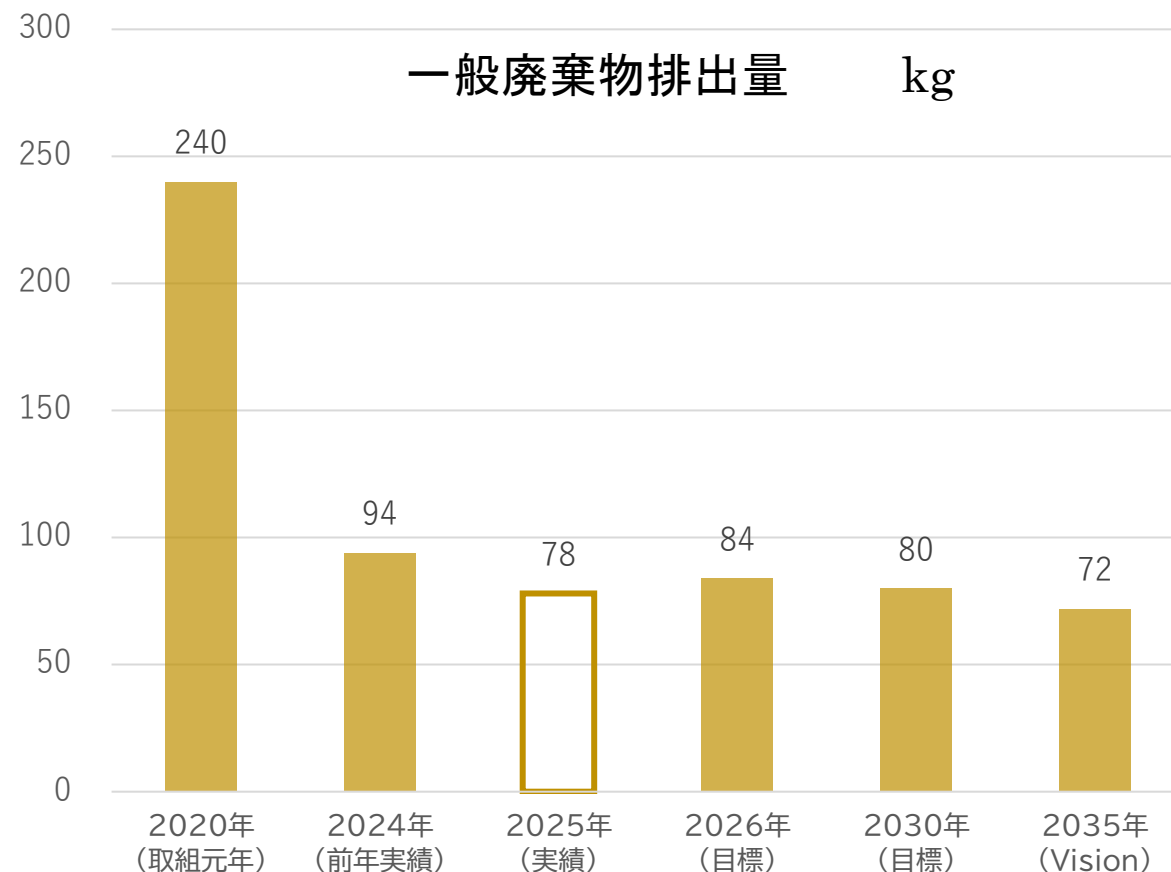
# (3)複合機印刷枚数の削減 (4)一般廃棄物排出量の削減



## (3)複合機印刷枚数の削減



## (4)一般廃棄物排出量の削減



# 調査ファイル03：複合機印刷枚数（担当：中丸課長）

「中丸課長！最近オフィスがすっきりしてる気がする！もしかして紙の山が減った...？🖨️✨」



「デコくん、いいところに気がついたね！電子署名の徹底や会議資料の完全デジタル化など、DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めたおかげさ。目標10,099枚に対して、実績はなんと8,569枚！2020年から半分以下になったんだよ。」



2020年度  
実績



18,362 枚

2024年度  
実績



9,723 枚

2025年度  
目標

2025年度  
10,099 枚



2025年度  
実績  
8,569 枚

## 【DXによるペーパーレス革命】

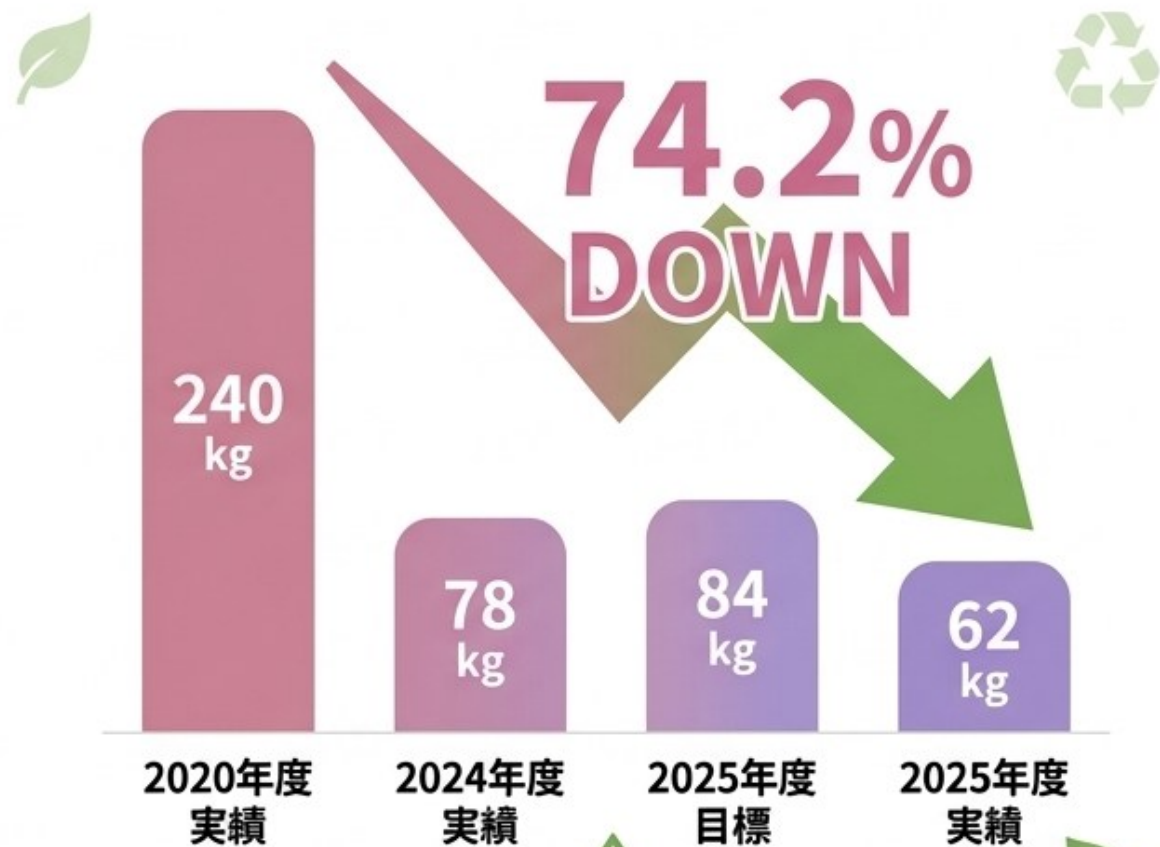
電子署名率100%を目指すデジタルの力が、そのまま環境負荷低減（53.3%削減）に直結！

## 調査ファイル04：一般廃棄物（担当：専務）

「専務、もう一つ質問！オフィスのゴミ箱、いつも全然ゴミが入ってないけど、まさデコくんの知らない秘密のゴミ箱があるの？🗑️👀」



「ふふふ、秘密のゴミ箱はないわよ。当社には『名刺サイズ以上の紙はすべてリサイクル』という徹底したルールがあるの。さらに電子パンフレットへの移行も進んで、2020年の240kgから今年は62kgまで、なんと74.2%も減ったのよ。」



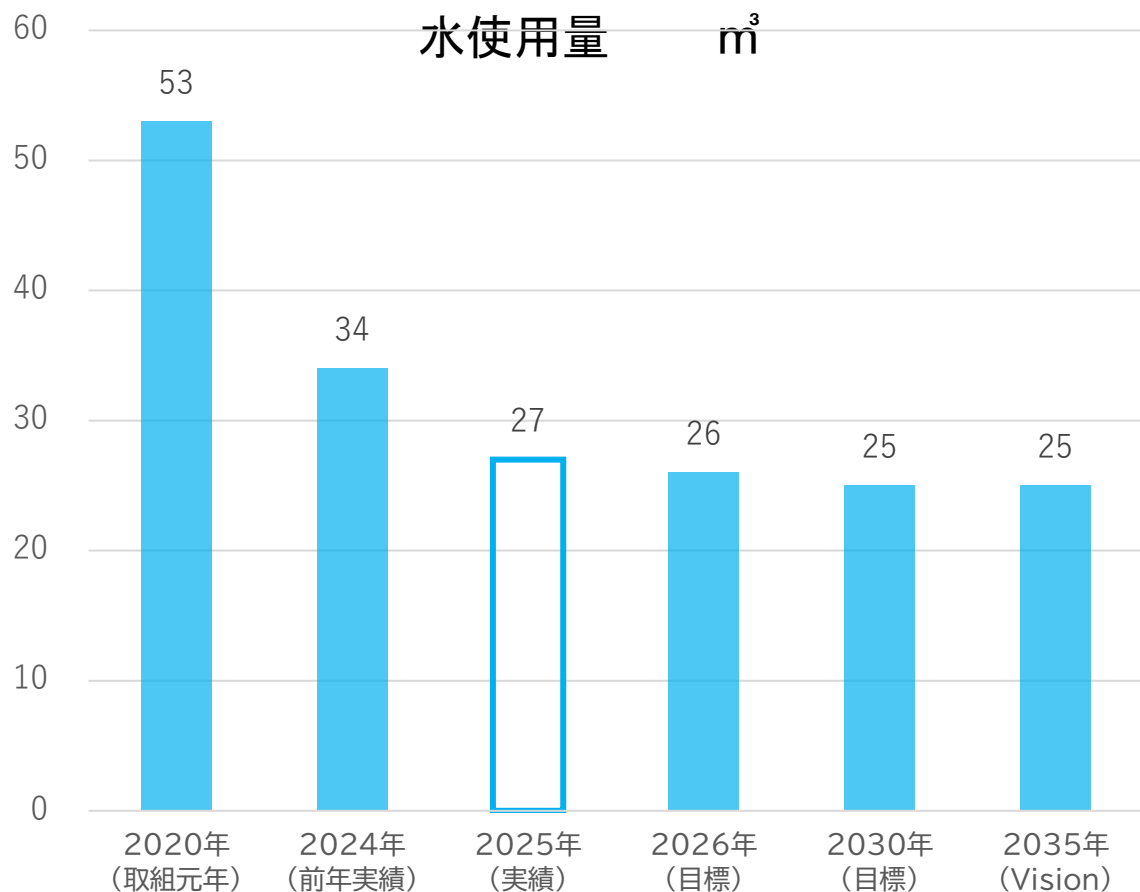
### 【徹底した分別と発生抑制】

「捨てない仕組み」の定着。DX化による紙ゴミの根本的削減と、スタッフ全員のリサイクル意識の賜物。

## (5)水使用量の削減



### (5)水使用量の削減



#### ■総評（評価と今後の計画）

2025年度は、紙・廃棄物・水の各指標において、日常業務に根付いた改善が定着した一年であった。

複合機印刷枚数は2020年比▲53%、一般廃棄物は▲67%、水使用量は▲49%と、いずれも大幅な削減を維持している。これらは一時的な削減ではなく、働き方・意識・行動の変化が定着した成果である。

#### ■評価（本質）

これら3つの取り組みは、それぞれ性質が異なるが、共通しているのは「行動と仕組みの両立」である。

- ・印刷枚数削減  
→「紙を使わない仕組み（デジタル化）」への転換
- ・廃棄物削減  
→「捨てない仕組み（発生抑制）」への進化
- ・水使用量削減  
→「日常行動の改善（意識変革）」の定着

つまり当社は、業務プロセス・意識・行動の3層で環境負荷低減を実現している。

#### ■今後の計画（戦略）

今後は「削減の継続」ではなく、質の向上へ進める。

##### ① 業務の完全デジタル化の推進

- ・紙を使わない業務の標準化
- ・デジタル完結率の向上

##### ② 廃棄物発生の最小化

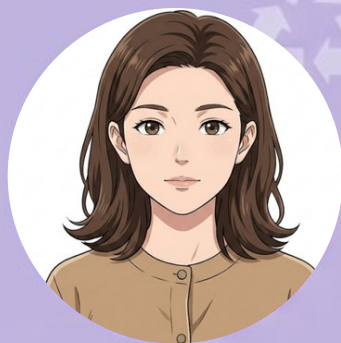
- ・不要な購入・発生の抑制
- ・リサイクル精度の向上

##### ③ 節水行動の定着と設備改善

- ・無理のない節水の継続
- ・節水設備の導入検討

# 調査ファイル05：水使用量（担当：小林さん）

「小林さん！水の使用量も27m<sup>3</sup>で目標（38m<sup>3</sup>）を大きくクリアしてる！お水はデジタル化できないのに、どうしてこんなに減ったの？🥤💧」



「日々の積み重ねが大事なよ、デコくん。食器の油汚れは熱いお湯でサッと落としたり、シンクをこまめに磨いて水の使用量を減らしたり。アナログだけど、みんなの『節水意識』がしっかり定着している証拠ね。」



2020年度 実績  
53 m<sup>3</sup>

2024年度 実績  
34 m<sup>3</sup>

2025年度 目標  
38 m<sup>3</sup>

2025年度 実績  
27 m<sup>3</sup>

## 【アナログな日常習慣の力】

設備投資やDXだけでなく、社員一人ひとりの「意識と行動の変化」が49.1%の確実な削減を生み出している。

## 【該当する主な環境関連法規】

| 適用される法規制   | 適用される対象品目   | 対応事項                                | 確認内容   | 結果 | 確認日      |
|------------|---|-------------------------------------|--|----|----------|
| 廃棄物処理法     | ◇一般廃棄物  | 委託事業者の点検                            | 委託:富士企業<br>ISO14001取得事業者   | ○  | R8.3.27  |
|            |   | 委託契約書の保管                            | 専用ファイルに保管  | ○  | R8.3.27  |
|            |   | 一般廃棄物の適正処理                          | 分別・ゴミ袋適正に処理  | ○  | R8.3.27  |
| フロン排出抑制法   | ◇第1種特定空調設備(2台)  |                                     | 簡易点検記録簿に記載   | ○  | R7.4.10  |
|            |   | 簡易点検実施(四半期毎)                        | なお、廃棄する際は充填回収登録を受けた事業者に回収依頼書を付けて機器を引き渡し、後日引取証明書をもらわないといけない(法41条) | ○  | R7.7.10  |
|            |   |                                     |  | ○  | R7.10.10 |
|            |   |                                     |  | ○  | R8.1.10  |
|            |   | 簡易点検記録簿                             | 記録記載・保管状況  | ○  | R8.3.27  |
|            | 廃棄をする際  | 充填回収業登録業者に回収依頼書を付けて引き渡し、後日引取証明書をもらう | —  | —  |          |
| 家電リサイクル法   | ◇冷蔵庫<br>◇液晶テレビ<br>◇エアコン(家庭用)  | 適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理            | 対象家電廃棄の有無<br>2025年度:無  | ○  | R.8.3.27 |
|            |   |                                     | 回収業者の確認  | —  | —        |
| 小型家電リサイクル法 | ◇PC端末<br>◇タブレット端末<br>◇電話機<br>◇携帯電話<br>◇掃除機<br>◇電子レンジ<br>◇扇風機<br>◇体重計<br>◇空気清浄機等 | 適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理            | 対象小型家電廃棄の有無<br>2025年度:無  | ○  | R8.3.27  |
|            |   |                                     | 回収業者の確認<br>業者:武田康孝(回収業)  | ○  | R8.3.27  |
| 自動車リサイクル法  | ◇社有車  | 適正な引取業者への引渡し                        | 廃車・譲渡(売却)の有無<br>2025年度:無   | ○  | R8.3.27  |
|            |   |                                     | 引取業者の確認  | ○  | R8.3.27  |
| 消防法        | ◇火災設備(消火器)  | 設置場所・使用期限の点検                        | 設置場所:事務所<br>使用期限:2032年まで   | ○  | R8.3.27  |
| グリーン購入法    | ◇環境省:特定調達品目(参照)   | 環境物品等の調達(購入)                        | 環境物品調達状況の確認  | ○  | R8.3.27  |

当社に適用される環境関連法規制等を確認・評価した結果、適正に遵守されており、関係当局からの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。また、法令変更等の有無についての確認も定期的に実施しました。

## RE100への軌跡 — ビジョンから現実への加速

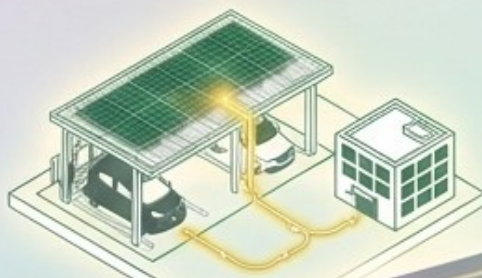
— 2023年1月 —

RE Action参画  
(初期目標: 2026年度末  
再エネ100%達成)

**再エネ100宣言**  
RE Action

— 2023年10月 —

アクション1: 次世代型ソーラー  
カーポート設置・EV導入開始  
(自家消費 4,113 kWhを実現)



— 2024年度 —

中間実績: 自家消費によ  
り再エネ率54.5%を達成



— 2025年度(下半期) —

アクション2: 全購入電力を  
「グリーン電力」へ完全切替



当初の「2026年目標」を前倒しし、2025年度内の  
【再エネ100%・CO2排出量ゼロ】を確実なものに。

# エネルギー調達の構造的シフト — 「削減」から「非化石化」へ

|         | 従来電力<br>(Conventional Power) | 太陽光発電<br>(Self-Consumption Solar) | グリーン電力<br>(Green Power)                    |
|---------|------------------------------|-----------------------------------|--|
| CO2排出係数 | <b>0.521</b> kg-CO2/kWh      | <b>0</b> kg-CO2/kWh               | <b>0</b> kg-CO2/kWh                        |
| 環境価値    | なし                           | 直接的削減                             | あり<br>(非化石証書等活用)                           |
| 役割      | かつてのベース電源                    | 自家消費の最大化<br>(4,113 kWh/年 稼働)      | 自家消費の不足分を補う<br>100%クリーンな調整電源<br>(ラストワンマイル) |

購入電力依存からの脱却と、CO2排出“ゼロ構造”への移行準備完了。

# 佐伯区民まつり・環境学習ブース出展



11月9日 (日)



昨年に続き  
2回目の出展!



地元佐伯区の  
子どもたち



「海洋プラスチック  
から海を守ろう」



全社員で  
やり切った  
熱い1日!

# 遊びながら学ぶ、海ごみ工作ワークショップ



切る

工作ブックでお魚さんたちをハサミで切り取る。



貼る

ノリで楽しく貼り付けて、自分だけの海の世界を完成させる。



気づく

豊かな海に潜む「海洋プラスチック問題」の現実を知り、海の大切さを考える。

「みんな、めっちゃ楽しんでくれたながら、一生懸命頑張ってくれたよ！」

環境省認定 エコ・ファースト企業

## 藤岡保険 コンサルタント



### 次世代を担う若き視点 関東圏の 大学生たち

12月13日(土) @ 東京・新宿 環境省主催「エコ・ファースト企業×大学生 リアルトークイベント」



## スポGOMI × 環境省エコ・ファースト in TOKYO 新宿



# THE PARADIGM SHIFT : 学生から受けた衝撃

## 従来のボランティア活動のイメージ

マインド：  
「やらされている感」(受動的)

行動原理：  
義務感からの参加

目的意識：  
言われた通りに作業をこなす

## Z世代(大学生)のリアルな姿

マインド：  
「自分事(Jibun-goto)」(主体的)

行動原理：  
自ら参加する明確な意思と  
高い社会貢献意識

目的意識：  
「どうすればチームが勝てるか」  
「どうすれば社会が良くなるか」を  
自ら戦略的に考え、行動する

学生たちから圧倒的なパワーと刺激をもらったのは、企業側(私たち)だった。

## 体験①：プロ仕様の機材で本物の自然に触れる



日本野鳥の会のご協力による  
「プロ仕様の双眼鏡」を使った  
本格的な観察！



冬のみずとりの浜に集まる  
多種多様な野鳥たち。



「普段とは違う臨場感に子供たちは  
大はしゃぎ！お父さんたちの方が興奮して  
観察している姿も印象的でした（笑）」

## 体験②：観察だけで終わらない「環境学習」



1



### 野鳥クイズ大会

親子対抗で楽しく  
鳥の知識を深める。



2

### 環境学習じっけん

パネルや紙芝居を使った  
分かりやすい解説。



3

### ゴミ問題の啓発

海洋保全に繋がる  
「ごみの正しい捨て方」を学ぶ。



自然の美しさを知るだけでなく、それを「守るための行動」を親子で笑顔いっぱい学びました。

# 小雨から青空へ。 笑顔あふれる大成功の一日



運も味方...



開始直後は小雨が降り、天候が心配される中でのスタート...

。



イベントが進むにつれて徐々に青空が！  
運も味方し、無事に全プログラムを終了。



「ハプニングもありましたが、皆様の笑顔のおかげで大成功のイベントとなりました！」

# 地域共生エコシステムマップ



みらい世代につなぐ架け橋。企業単体の活動を超え、地域社会全体を巻き込む「共生のエコシステム」へ。

# 100年先の「安心・安全」を見据えた3つの戦略的ピース

私たちの原動力は「人」であり、単なる環境活動ではなく「地域社会の有機的な循環」を生み出すことが使命です。そのため、世代別の特性に合わせた3つのアプローチを展開しています。

幼児・児童 × 創造

## 海ごみワークショップ

遊びを通じた未来への「種まき」

Z世代（大学生） × 行動

## スポGOMI

環境行動を戦略的共創へアップデート

家族・地域 × 体験

## 野鳥観察会

本物の自然体験が生み出す畏敬の念



「企業とは、単なる利益を生み出す存在ではなく、未来世代へ価値をつなぐ  
“責任ある存在”である」 — 代表取締役社長 藤岡 徹也

健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）



# ネクストブライト1000 認定

有限会社藤岡保険コンサルタント | 働きやすさと働きがい循環する組織へ

# 「ネクストブライト1000」が意味するもの



1

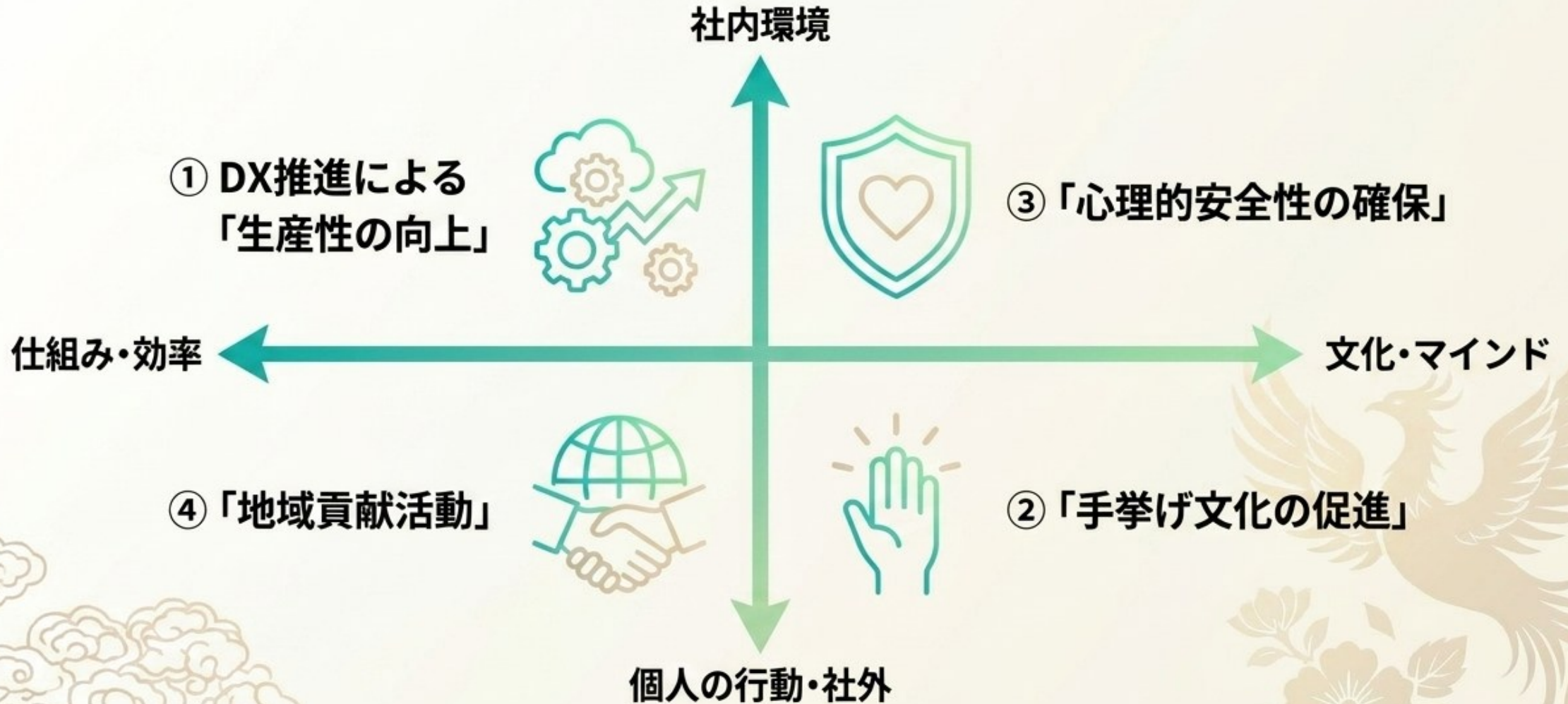
中小規模法人部門の認定法人のうち、特に優れた健康経営の取り組みを行う上位法人にのみ付加される冠。

2

単なるコンプライアンス（法令遵守）ではなく、社員一人ひとりの健康を「企業価値向上の戦略的投資」と捉える先進的リーダーシップの証。

# 健康経営を実現する4つの柱

理念を現実に変えるため、システムと文化、社内と社外の全方位からアプローチを推進しています。



# 真の融合：社員の「主体性」が「環境経営」を直接牽引する



## 人的資本 / 健康経営



## 環境経営

【心身の健康と活力】

A

社員の充実した活力が、海岸保全（スポGOMI）や環境教育ワークショップへの自発的な参加・運営エネルギーへと直結。

【地域共生】

【対話と共感・主体的な行動】

B

現場からの主体的な業務改善の提案（ボトムアップ）がデジタル化のアイデアを生み出し、紙・廃棄物の劇的な削減を実現。

【徹底したペーパーレス化】

【心理的安全性】

C

失敗を恐れず新しいデジタルツール（オンライン面談等）に挑戦できる土壌が、移動に伴うガソリン消費量やCO2の削減を強力に後押し。

【DX推進とCO2削減】

# 人的資本アクション — リスキングによる「価値の三角形」構築

## 個人の成長が、自社と社会の環境経営を駆動する羅針盤となる



【Action to Impact】 従業員一人ひとりに、この3要素の「DNA」を組み込む戦略的リスキング。社員のスキル向上が、自社の環境負荷低減だけでなく、顧客企業の課題解決に直結する体制へ。

# Pillar 1 : Safety (BCP) — 揺るぎない安心・安全の土台

災害への備えを個人のスキルから組織のレジリエンスへ昇華させる



## 【個人アクション】

中丸課長による「防災士」資格の取得。トップダウンではなく、現場のリーダー自らが専門知識の習得に挑戦。



## 【組織の変革】

激甚化する気候変動・自然災害に対する企業のレジリエンス（事業継続力）を根本から強化。



## 【社会への提供価値】

地域社会の防災拠点としての役割を担い、「みらい世代が安心・安全に暮らせる社会」の基盤となる。

# Pillar 2 : Environment (環境) — 持続可能な未来への伴走者

自社の環境活動から、顧客を導くプロフェッショナルへ



# Pillar 3 : IT (DX) — データと技術で最適解を導出する

デジタルへの理解が、根本的な環境負荷低減のアクセラレーターとなる



## 【スキルの底上げ】

社員による「ITパスポート」への挑戦。デジタル技術の本質を理解し、業務プロセスを見直す視点を獲得。



## 【組織の変革】

紙を使わない仕組みへの転換。電子契約の徹底やデジタルツールの活用によるペーパーレス化の加速。



## 【環境への提供価値】

実績：複合機印刷枚数53.3%削減（18,362枚から8,569枚へ）。単なる節約ではなく、仕組み化による根本的な環境負荷低減を実現。

# サステナビリティ・マッピング：全方位的な経営の総合力



これらの多様な認証は単なる実績ではなく、全てのピースが相互に補完し合う綿密に設計された経営の総合力を証明しています。

| 区分   | 認証・認定   | SDGs  | 内容／取得年月   | 区分  | 認証・認定   | SDGs   | 内容／取得年月   |  |
|--|---|---|---|---|---|--|---|--|
| 環境   | <br>【小規模事業者では全国初】                                      |  | 【 <u>エコ・ファースト企業／令和5年4月</u> 】<br>環境分野において業界における環境先進企業であることを環境大臣が認定。                  | DX  | <br>【保険代理店で初の認定企業】 |   | 【 <u>DX推進事業者／令和6年11月</u> 】<br>デジタル技術を活用したビジネス変革の推進を経済産業省が認定。  |  |
|  | <br>エコアクション21<br>認証番号0013637<br>【オブザイヤー2024銀賞受賞】       |   | 【 <u>エコアクション21／令和4年7月</u> 】<br>環境省が策定した環境マネジメントシステムで、主に中小企業向けに設計された認証制度。            |   | <br>セキュリティ対策自己宣言   |  | 【 <u>SECURITY ACTION／令和5年1月</u> 】<br>情報セキュリティ対策の自己宣言制度。<br>(★★二つ星宣言)  |  |
|  | <br>【ひろしまエコ事業所／令和4年7月】<br>エネルギーや資源循環の取り組みを行う事業所として認定。  |   |  | 【 <u>健康経営優良法人／令和5年3月</u> 】<br>従業員の健康管理を経営視点で推進し、企業価値向上に取り組む企業を認定。                   | 健康  | <br>2026<br>健康経営優良法人<br>中小規模法人部門<br>ネクストプライト1000  | <br>Teamがん対策ひろしま<br>登録企業 | 【 <u>TEAMがん対策ひろしま／令和5年8月</u> 】<br>企業のがん対策の推進を支援し、取り組みをバックアップ。  |
|  | <br>【デコ活登録企業／令和5年8月】<br>脱炭素社会を目指し、環境負荷の低減を推進する取り組みを実践。 |   |   | 【 <u>再エネ100宣言 RE Action／令和5年1月</u> 】<br>使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思を表明。(自家消費型太陽光発電導入) |   | BCP  |   | <br>令和3年度<br>事業継続力強化計画<br>認定<br>経済産業省 |
|  | <br>【再エネ100宣言 RE Action】                             |   |   | 【 <u>広島県リスキリング推進宣言／令和4年10月</u> 】<br>従業員のスキル向上と学び直しの促進を宣言。                           | 人   | <br>人の力で「かち」に行く！<br>人的資本経営<br>ひろしま<br>Human Capital Management<br>HIROSHIMA<br>【人的資本経営ひろしまアワード】 |                        | 【 <u>人的資本経営ひろしま／令和7年3月</u> 】<br>広島県庁が県内の企業の「人的資本経営」の取り組みを支援する独自の取り組み。  |
| <br>【広島県リスキリング推進宣言】 |    |   |   |   |   |  |   |  |

2025年度は、当社の環境経営が、単なる「環境負荷の削減」にとどまらず、企業価値そのものを高める「持続可能な価値創造」へと進化した一年であったと評価しています。

最大の成果は、自家消費型太陽光発電設備とグリーン電力の全面導入により、「再生可能エネルギー100%」を実現したことです。これは単なる数値目標の達成ではなく、エネルギーの在り方そのものを見直し、小規模な保険代理店であっても、経営の意思決定と実行力によって脱炭素社会の実現に貢献できることを示す、大きな転換点となりました。また、DX推進によるペーパーレス化やオンライン化は、環境負荷低減だけでなく、生産性向上や働きやすさの向上にもつながりました。環境経営は、もはや付加的な活動ではなく、日々の業務や組織文化と一体化した「当社の在り方そのもの」へと変化しつつあります。

一方で、取り組み成果には一部ばらつきも見られました。その要因を分析すると、単なる実行力の差ではなく、「なぜ取り組むのか」という理解や納得の深さに違いがあることが見えてきました。そのため当社では、「取り組みを浸透させる」という考え方ではなく、社員一人ひとりの“共感”を重視しています。多忙な日常業務の中で、なぜ私たちが地球環境保全に取り組むのか。その本質的な問いについて、ミーティングや対話を重ねながら、それぞれが自らの価値観と結びつけて考える機会を設けてきました。その結果、社員一人ひとりの中に、自発的な行動や改善提案が少しずつ生まれ始めています。心理的安全性の高い組織風土の中で、「失敗を恐れず挑戦できる環境」が、環境改善や業務改革の原動力になりつつあることを実感しています。また、当社は、環境経営(GX)と人的資本経営を分けて考えていません。社員一人ひとりが仕事の意味と向き合い、自ら考え行動することが、結果として環境負荷の低減や企業価値の向上につながると考えています。環境への取り組みは、人の成長を促し、組織文化を育み、地域社会へ価値を循環させる経営そのものです。

次年度に向けては、この土台をさらに深化させ、単なる目標達成ではなく、「行動の質」と「社会への波及」を重視した取り組みを推進していきます。

具体的には、以下の3点を重点指示とします。

- ① 環境目標の背景や意義への理解をさらに深め、“共感の輪”を社内外へ広げること。
- ② 日常業務と環境活動を切り離さず、本業との相乗効果をさらに高めること。
- ③ 社員一人ひとりが主体的に改善提案や挑戦を行える組織風土をより強固にすること。

環境経営とは、単なるコスト削減や社会貢献活動ではなく、「私たちは何のために存在するのか」を問い続ける経営の挑戦であると考えています。当社は、環境と人の両面から経営の質を高め、「みらい世代が安心・安全に暮らせる社会」の実現に向けた架け橋となれるよう、これからも挑戦を続けてまいります。

環境経営方針 変更なし 変更あり  
 環境経営目標 変更なし 変更あり  
 実施体制 変更なし 変更あり

2026年5月6日

代表取締役社長 藤岡徹也



Fujioka

# みらい世代につなぐ 架け橋でありたい

作成日：2026年5月

**有限会社藤岡保険コンサルタント**

広島県広島市佐伯区利松2-12-10 〒731-5106

Tel. 082-928-8371 (代表)

✉ [hoken@fujioka-21.co.jp](mailto:hoken@fujioka-21.co.jp)